

平成20年度(第62回)

芭蕉祭

俳聖松尾芭蕉の業績をたたえ遺徳をしのぶ「平成20年度(第62回)芭蕉祭」が、市と財芭蕉翁顕彰会の共催で10月12日、上野公園を中心に行われました。

芭蕉翁銅像、文学碑への献花、献菓のあと、上野公園内の俳聖殿前で厳かに式典が行われました。式典は「芭蕉祭子ども合唱団」による「芭蕉さん」の斉唱で始まり、献詠俳句特選句の披講、懸額除幕、各受賞者への表彰などが行われました。

今年の献詠俳句は、全国各地および世界各国から一般の部に1万2804句、テーマの部に2004句、児童・生徒の部に2万8406句、連句に205巻、英語俳句の部に日本を含む14カ国から400句の応募がありました。各部門の特選句と一般の部で入選された市内の方の句を紹介します。

一般の部 特選

《有馬 朗人 選》

二胡の音に蘇州の月の上りけり
稲妻や改宗帳の幼ナ文字

和泉市 白井恭郎
豊中市 小畑晴子

《稲畑 汀子 選》

爽やかに残る人生あるがまま
遠くより見れば見るほど合歡の花

伊賀市山畑 北村みち
金沢市 今村征一

《茨木 和生 選》

大岩が山の神なり桐の花
雲の峰進水式に招かれて

伊賀市朝屋 神尾早智子
新居浜市 今井佳穂

《宇多喜代子 選》

天瓜粉手足ばたばた地球打つ
母を連れ出して夏越の祓ひ受く

ブラジル 東 抱水
津市 服部美佐子

《岡崎 光魚 選》

雨の日は汐の香つよし夜光虫
冷し牛まぶたにかかる水きららふ

伊賀市上友生 橋本 良
西尾市 齋藤朗笛

《鍵和田柚子 選》

俳聖殿大きな月を上げにけり
浜木綿についと口づけ戻り海女

宇都宮市 細井寿子
伊賀市森寺 喜多柚子

《金子 兜太 選》

狼吠ゆ古稀の幻聴めきし夜を
此処がいいここで生きねば移民の日

別府市 梅木兜士彌
ブラジル 難波ふく江

《倉田 紘文 選》

遠く来て高きに登る思ひかな
功罪もなく末席に移民祭

奄美市 宮之原南泉
ブラジル 栢野桂山

《塩田数柑子 選》

流水の貌を変えゆく温暖化
引き揚げの苦難を偲ぶ終戦日

伊賀市上野田端町 山添洋子
生駒郡 河野照葉

《西村 和子 選》

帰省子の仰ぐ渡船の時間表
夕涼みしているような露天商

岡崎市 三浦葵水
守谷市 宮本徹志

《長谷川 權 選》

一本の蕨ほどけてゆく光
花合歡にあそぶ法隆寺の飛天

神戸市 松下弘美
伊賀市三田 西田 誠

《星野 椿 選》

ががんぼの親し一夜の坊泊り
緑蔭のひとかたまりは紙芝居

駿東郡 堤 信彦
伊賀市印代 森中幸枝

《皆川 盤水 選》

合歡咲きて雨のやさしき伊賀上野
かほり立つ翁の墓所の花茗荷

奈良市 深川知子
伊賀市栢植町 桑原智代美

《宮田 正和 選》

蜆舟鳩に寄られて傾ぎけり
よく鳴りし今日風鈴を仕舞ひけり

伊賀市栢植町 藤井千恵子
志摩市 手塚泰子

《森 澄雄 選》

釣月軒秋日の届く箱火鉢
射干に通る雨あり蓑虫庵

姫路市 小坂晶子
奈良市 下山永見子

テーマの部 特選

《片山由美子 選》

アマゾンの森に轟く益太鼓
涼しさに森に帽子を忘れ来し

ブラジル 山岡宏子
伊賀市栢植町 西野登志子

英語俳句の部 特選

《加藤 耕子 選・訳》

A snail has
a weight enough to swing
the leaf-tip
(かたつむり葉先をゆらす身の重さ)
青森県 ヒデオ・イワタ
(Hideo Iwata)

spring daybreak
no more than shadow
the stone Buddha
(春暁やおぼろおぼろと石仏)
アメリカ ブルース・ロス
(Bruce Ross)



児童・生徒の部 特選

◆幼稚園・保育園および小学校1～3年

《川浪玲子・北村保・北村みち・佐々木経子・葭葉悦子 共選(五十音順)》
 にあうかなしろつめぐさのくびかさり 陸保育園 おおぎたにあい
 おかえりとひやけのパパにとびついた 曙保育園 南 桃愛
 あさがおがやねのうえでもさいている みどり第二保育園 中森聖来
 なつのうみ自由の女神島に立つ 三重郡川越北小1年 小澤尚果
 あかとんぼとんでつこりばしょうさん 上野西小1年 たきやまさき
 せみのこえとらんべつととしようぶする 友生小1年 つじむらりんこ
 すべりだいながいよもうすぐさくらさく 高岡市伏木小2年 大がひびき
 いかとえびりレーミみたいにかいてんずし

高岡市東五位小2年 しげみしゅうこ

おにはそとちよつとみたいなおにのかお 員弁郡稲部小2年 平井颯
 大空に入道雲のりゆうがまう 河合小3年 篠原 司
 みつけたよいねの小さな白い花 府中小3年 輪田香帆

◆小学校4～6年

《谷本昌子・西田誠・濱地和恵・藤井充子・山村勝子 共選(五十音順)》
 夏の剣道サウナのような面の中 上野西小4年 山口せりの
 山道を越えるときける滝の音 島ヶ原小4年 永岡 潤
 一りん車すいかごろごらおどつてる 神戸小4年 福増えりか
 一歩ずつ足は見つけて登る富士 中瀬小5年 西田雅良
 炎天下手をあげつづけ女神像 壬生野小5年 河相珠菜
 もぎたてのきゅうりに花がのこつてる 花垣小5年 中井美幸
 友達とみこしの前で写真とる 上野東小6年 北川志信
 店先に柿と並んだくいな笛 上野西小6年 玉岡孝之
 泣く子にはわざとかみつく祭り獅子 神戸小6年 瀬戸山莉帆

◆中学校および高等学校

《喜多富美・永井みよ・東横東子・福山良子・横田総市 共選(五十音順)》
 ほおばればはじける果汁青りんご 府中中1年 山根奈生子
 背番号もらい張り切り部活の夏 奈良市月ヶ瀬中1年 奥田綾奈
 算数が数学になった新学期 崇広中1年 早瀬木実
 能登の夏兄と数えた千枚田 崇広中2年 西村俊紀
 絵付けした風鈴の音に耳すます 霊峰中2年 福森 彩

夏休み父が選んだ電子辞書

津市セントヨゼフ女子学園中2年 寺井里緒
 畑の杭麦わら帽がかかっている 成和中3年 藤森あかね
 のびた髪ひとつにくくり夏来る 宇陀市室生中3年 阪本 梓
 白神の山路をうめる竹落葉 千葉市新宿中3年 大曾根妙子
 英語の詩蟬が邪魔するヒアリング さいたま市開智学園高2年 後藤泉
 黄たんぼぼ一輪咲いて坂長し 長崎市長崎工業高2年 円田貴洋
 手もふれず十葉の白見ていたり 上野高3年 竹澤 齋
 黙禱を四方からセミが押し包む 長崎市長崎工業高3年 中村隆太
 百合切つてメッセージ書く原爆忌 長崎市長崎工業高3年 中村祥也

連句の部 特選

《岡本耕史・品川鈴子・引地冬樹・宮下太郎 共選(五十音順)》

▼半歌仙『山路来て』の巻 長野県 矢崎硯水 捌
 山路来て何やらゆかしすみれ草 芭蕉翁
 帽子の鏝つばに止まる初蝶 矢崎硯水
 卓上でルーベを使ふ長閑さに 鎌倉史子
 凶鑑のページ窓に向けつつ 武藤さき
 新任の地を月光ゲの照らすらん 山川逸仙人
 鼻曲がり鮭くぐる鉄橋 近藤たま
 青鬼のお面を買ふて秋祭 硯水
 鴨居にかけて恋の呪文を 史子
 耳元の甘いささやき正夢か さき
 ときに自分を褒める葛餅 逸仙人
 勤勉に仕事こなして旅に出む たま
 伊勢にも寄つて偲おもぶ熊楠くまかき 硯水
 嗚れ声のこだま響かす寒鴉かんがらす 史子
 氷柱きらりと冴え渡る月 さき
 あのと金の剛杖をさすりつつ 逸仙人
 スピッツじやれて鞆を転がす たま
 わらんべに盃奪はれる花の宴 史子
 珍事も多き平成の春 硯水
 平成20年6月23日 満尾 インターネット